

朝日放送テレビ株式会社が、アート集団チームラボと共に京都駅近くにアートミュージアムを中心とした複合文化施設を開発するプロジェクトの「京都駅東南部エリアにおける市有地の活用に係る基本協定」を本日締結。

朝日放送テレビ株式会社（本社：大阪市、代表取締役：山本晋也）が、アート集団チームラボ（本社：東京都千代田区、代表取締役：猪子寿之）、関西基盤の複数の企業と共に京都駅近くにアートミュージアムを中心とした複合文化施設を開発するプロジェクトの「京都駅東南部エリアにおける市有地の活用に係る基本協定」を本日京都市と締結しました。

また、当プロジェクトにニューヨークを本拠地とするメガギャラリー「ペースギャラリー」のCEOらが設立した一大アート事業「スーパーブルー」が参画することが決まりました。



※画像はイメージです。

【計画概要】

本事業は、チームラボが京都・大阪を基盤とする複数の企業と共に、京都駅東南部エリアにおける市有地に、「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」となる施設の設置・運営を行う事業です。

チームラボのアートミュージアム、学生や地域住民の方々が利用できる市民ギャラリー、カフェ、アートセンターなどの複合文化施設の整備を計画しています。

チームラボは、本事業を通して、京都市が京都駅東南部エリアにおいて目指す、文化芸術や若者を基軸としたまちづくりの推進に貢献します。

チームラボを代表として、京都・大阪に根差した複数のパートナー企業と共同で本プロジェクトを遂行します。パートナー企業には、京都新聞ホールディングス、京都放送、エフエム京都の京都の主要メディア企業、関西圏のテレビ局である朝日放送テレビと読売テレビ、京阪電気鉄道の持株会社である京阪ホールディングスが参加します。

■アートミュージアム

新作をはじめとした、チームラボのアート作品を複数展示予定です。世界中のクリエイティブクラスをはじめとした多くの人々のデスティネーションとなることを目指します。そして、エリアへの回遊性をデザインし、エリア全体の活性化を目指しています。

さらに、アートミュージアムは、来館者に観賞していただくだけでなく、京都市立芸術大学をはじめとした京都の学生が、作品創造の実験の場として使用できるプラットフォームになることを検討しています。チームラボのミュージアムには、数百台のプロジェクターやセンサー、ムービングライト、基盤になるコンピューターなど、様々なデジタル機器が世界にも全く類を見ない規模で設置され、互い機器がネットワーク化されています。そして、それらを連動させて動かすためのミドルウェアも独自に開発しています。デジタルテクノロジーなどを利用した新しいアートや創造的活動において、設備や機材がなければ、作品の実験もできない上に、想像もしにくいという現実的な問題があります。学生には、これらの設備や機材に触れる機会を創出し、デジタルテクノロジーなどを利用したアート、もしくは創造的活動における、設備のある、実践的な教育機会となることを目指しています。



画像はイメージです

■アートセンター

アートセンターの計画には、国際的なアート事業 Superblue が参画。新たな体験型アートセンター Superblue Kyoto をプラットフォームに、世界的なアーティストによる大規模な没入型の作品展示や、京都の学生や地域住民の方々とのワークショップの開催を検討しています。

Superblue は、ニューヨークを本拠地とする国際的なメガギャラリー「[Pace Gallery \(ペース・ギャラリー\)](#)」の CEO らと、ローレン・パウエル・ジョブズ率いる社会活動団体「エマーソン・コレクティブ」を創立パートナーとして立ち上がった、体験型アートに特化した新事業。京都駅東南部エリアには、新たな体験型アートセンター「Superblue Kyoto」がオープンする予定です。Superblue は 2021 年 5 月 20 日に、フロリダ州マイアミに最初のアートセンター「Superblue Miami」をオープン。ジェームズ・タレル、エス・デブリン、チームラボによる没入型の空間作品を、長期的に展示しています。

大規模な没入型の作品を展示するために設計された Superblue のアートセンターは、アーティストが作品を触媒に現代の関心事を模索し、世界への新たな視点を生み出し、来場者をより作品世界に誘う場を提供します。

■市民ギャラリー

京都市立芸術大学の学生をはじめ、京都の芸大生の発表と交流の場となる市民ギャラリーを整備予定です。なお、市民ギャラリーは、多目的スペースとして、自治連合会をはじめとした様々な団体や地域住民の方々の活動の場としてもご利用いただけます。

【チームラボ / teamLab】

アートコレクティブ。2001 年から活動を開始。集団的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CG アニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。

チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したいと思っている。人は、認識するために世界を切り分けて、境界のある独立したものとして捉えてしまう。その認識の境界、そして、自分と世界との間にある境界、時間の連続性に対する認知の境界などを超えることを模索している。全ては、長い長い時の、境界のない連続性の上に危うく奇跡的に存在する。

ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、シリコンバレー、北京、台北、メルボルンなど世界各地で常設展およびアート展を開催。東京・お台場に《地図のないミュージアム》「チームラボボーダレス」を開館。2022 年末まで東京・豊洲に《水に入るミュージアム》「チームラボ プラネッツ」開催中。2019 年上海・黄浦濱江に新ミュージアム「teamLab Borderless Shanghai」を開館。2020 年 6 月にマカオに常設展「teamLab SuperNature

Macao」ソフトオープン。2021年7月16日から九州・武雄温泉・御船山楽園にて「チームラボ かみさまがすまう森」開催。

チームラボの作品は、ロサンゼルス現代美術館（ロサンゼルス）、ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館（シドニー）、南オーストラリア州立美術館（アデレード）、サンフランシスコ・アジア美術館（サンフランシスコ）、アジア・ソサエティ（ニューヨーク）、ボルサン・コンテンポラリー・アート・コレクション（イスタンブール）、ビクトリア国立美術館（メルボルン）、アモス・レックス（ヘルシンキ）に収蔵されている。